



ほっと通信

ミニ学習会④のレポートです!
今回は、山岡先生が
書いてくださいました!!

研修レポート!

7/23ミニ学習会「スウェーデンの教育について」

お昼ご飯をみんなで持ち寄って食べながら…といういつもとは違うスタイルで始まったミニ学習会。内容は、鎌田先生が3月に行かれたスウェーデンへのEDUTRIPの報告。とにかく「えー!」「ほんとに?」「うらやましい」がたくさんの時間でした。

スウェーデンではとにかく「教育には民主主義を教える」という使命があるそう。その中でなされていることは、日本とはかなり（いや全く!?）ちがいます。

例えば

- ・成績の評価は小学校6年生から（それまではなし）
- ・高校入試も大学入試もなし
- ・体育も競争はせず「協力」「助け合う」「最後までやる」が大事
- ・支援の対象は全員という考え方
- ・就学前から、選択したり、意見を伝えたりする権利が大切にされている
- ・授業料なしにいつでも学びなおしができる場所がある などなど



わたしたちが勝手に当たり前だと思っていることが、どんなに狭い世界のことなのか考えるきっかけになりました。

「うらやましい!」の声がたくさん出たのは、FIKAという勤務時間内のコーヒー＆お菓子タイム。学校の中とは思えない、素敵すぎる空間の写真にため息。いきなりそのまま取り入れることは難しくても、hobbyが大切、自分らしくいることが大切、少しでもアーティスティックな環境を…というような精神は、少しずつでも取り入れられたらいいなと思いました。2学期からはぜひ「みんなでFIKA!」を合言葉にしましょう!



FIKAができる休憩室

FIKAとは・・・

コーヒーと甘いお菓子を準備し、家族や同僚、パートナーなどと一緒に過ごす時間。スウェーデンでは、多くの企業が勤務時間中にFIKAを設けている。FIKAの時間は仕事から離れ、社員同士でコミュニケーションをとりながら、FIKAの時間を楽しむ。

実際にスウェーデンの学校で見たFIKAするための休憩室の写真です…本当にうらやましい…ですが、豊北にも給湯室があります!!
(エアコンはありませんが!!)
2学期は忙しくてもFIKAしましょう!



本の紹介

「スウェーデンの優しい学校 FIKAと共生の教育学」
戸野塚厚子著 2024明石書店

「読んで旅する、日本と世界の色とりどりの教育」
武田緑著 2021教育開発研究所

戸野塚さんの本は、スウェーデンの教育システムや学校文化を楽しく紹介してくださっていてとっても読みやすいです。

武田さんの本には、国内外の教育現場を訪ねる視察ツアー「EDUTRIP」のことが載っています。海外に目を向けると、日本のアタリマエを問い直すきっかけになり、「目からうろこ」なことがたくさんあります!!
鎌田の机に置いてありますので、いつでもお読みください!

